

事業名：公民館運営管理事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実							
施策	02 生涯学習の充実							
基本事業	01 生涯学習関連施設の充実							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公民館

手段（事務事業の内容、やり方）

施設の管理運営を指定管理者に委託する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生涯学習活動の拠点として、施設の維持管理・運営を適切に行い、学習の支援の充実を図るとともに学習の機会（場）の提供を行う。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	78,640	78,894	78,619	89,483
活動指標2						
成果指標1	利用者数	人	218,389	220,783	226,557	220,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	79,054	80,150	80,371	91,383
正職員人件費(B)		千円	2,408	2,405	2,344	2,347
総事業費(A+B)		千円	81,462	82,555	82,715	93,730

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適切な維持管理・運営 学習の支援の充実 学習の機会（場）の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 78,619千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・法改正に伴い平成18年度より指定管理者による管理運営を導入した。 ・施設の老朽化や市民の学習要求の多様化等により、より適正かつ効率的な管理運営が求められている。 	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の充実を図るうえで、生涯学習を実践する場や学習機会の提供は必要不可欠であり、施設の運営管理事業は妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・上位基本事業の達成のためには、生涯学習活動の拠点となる公民館の管理運営事業は必要不可欠である。 ・指定管理者制度の導入により、公民館運営管理だけでなく柔軟な公民館事業の企画・運営が可能となり、より多くの市民の学習機会の提供が図られる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の導入により、運営管理と事業企画、実施が総括的に実施され、良い意味で現状を維持している。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度から指定管理者制度を導入し、生涯学習施設の充実が図られつつある。今後も指定管理者の適正かつ効率的な運営管理と市民ニーズに合った事業企画により、より市民サービスの向上が期待できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の導入によりコスト意識は高まっている。今後も、指定管理者との協議調整の中で、管理運営の改善、工夫を含めた効率性を追求していく。